

日本ユニシス株式会社

2011年3月期3Q決算説明会（2011年1月31日開催）

## 主な質疑応答

（ご理解いただきやすいよう表現を変更している箇所があります。）

**Q：3Qまでの売上高の状況と、今回通期の売上高予想を減額修正した理由を教えてください。**

A：今期の売上高は、1Q、2Qとも前年を大きく下回ったが、足元の3Qに入って、ようやく増加（＋13億円）に転じた。通期の売上高予想については、3Qまでの進捗と受注残の状況を勘案し、2,800億円から▲40億円減少の2,760億円へと変更した。なお、利益予想に関しては、コスト対策が想定以上に進展していることから、現時点では変更していない。

**Q：業種別の傾向を教えてください。**

受注は弱かったが、売上ペースで見ると、官公庁以外は改善し、3Qでは対前年同期比で増収に転じている。この傾向は4Qではどのようになっていくのか？

A：まず、「金融機関」向けは、上期には反動減があったが、3Qでは対前年同期比でプラスに転じている。4Qからは、大手金融機関の要件定義等が始まるほか、『BankVision』の新規獲得に向けて積極的にセールを展開している。

「官公庁」については前年同期に大型案件を計上したことによる反動減が影響しているが、3月末の案件獲得に向けて取り組んでいる。

「製造」については、2Qから増加に転じ、3Q累計で前年同期比12億円程度の増収となっているため、底は脱したと考えている。住宅メーカーや自動車向けCAD等のエンジニアリング系の案件が動き出していることから、3月末にむけて期待出来る状況である。

「商業・流通」については、小売・アパレルの立ち上がりが遅れていることなどから、3Q累計で20億円ほど減収となっている。下期に入ってからのは当社のERPソリューションである

『Hybrish』、医薬分野での案件が出てきており、回復基調にあると判断している。

「電力・サービス・その他」に関しては、下期から大型案件の開発が本格化し、3Q累計で15億円増収になっており、4Qについても堅調に推移していくものと予想している。

**Q: 地銀アウトソーシングで、昨年 4Q に大口の契約があったと思うが、今期の状況を教えて欲しい。**

A: 期初時点では、今期さらに新規2行の獲得を目指していたが、1件は来期にずれの見通しとなり、1件の受注に向けて鋭意営業活動を行っている。

**Q: 不採算案件の発生状況と年度見通しを教えて欲しい。**

A: 不採算は上期に3.4億円を計上し、3Qでは3.1億円を計上した。これは、1Qで引き当てた案件の稼働時期延期に伴う追加引当てを計上したものであり、この案件はほぼ収束した状況であるため、これ以上悪化しないものと考えている。

**Q: 来期の見通しについて伺いたい。御社のお客様をみて、金融、製造業、電力などで、良くなりそうなところ、まだ見えないところなど、業種別の感触を教えて欲しい。**

A: 官公庁で、新規分野への参入を図っており、当社としてはここに期待している。金融では、地銀以外でも金融機関向けの勘定系大型案件が動き出すことから、来期大きく貢献してくれるものと期待している。

また、流通分野でも、来期は大手が大きく動くのではと期待している。

(注)本資料で記述しております業績見通し等の予測数値は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は、本資料における見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。